

大学名 琉球大学

表題 琉大URAは、人と人をつなぐ大学のプロデューサー

異分野融合研究のプロデュース



Blue & Green Revolution拠点
における海藻養殖実証試験

琉球大学URAは、2015年2月から活動を開始し、それ以来、様々な業務に従事してきました。その中の一つが本学の特色ある研究分野「熱帯・亜熱帯、島嶼・海洋、琉球・沖縄文化、健康・長寿・国際感染症等」の異分野融合研究の推進です。

活動当初から、本学独自の取組として、実績データに基づく特色分野とそれらを牽引する研究者を抽出し、研究プロジェクトの支援や、プロジェクト間をつなぐ新たな融合分野形成のプロデュースに注力してきました。

例えば、「サンゴ礁生物の生理」×「再生可能エネルギー」から「Blue & Green Revolution拠点(COI-NEXT本格型)」が誕生しました。また、「琉球列島の人類ゲノム」×「琉球諸語」からは「言語系統樹研究(科研費基盤研究(S))」が、「生活」×「農業」×「サンゴ礁」からは「水の環プロジェクト(JST 科学技術コミュニケーション推進事業、JST SOLVE for SDGs)」も誕生しています。特に「水の環プロジェクト」は、超学際的なプロジェクトで、URAがつなぎ役として、文系理系の分野を超えた研究者、自治体、地域住民とともにスタートしたものです。

これらのプロジェクトは現在も進展していて、各々のプロジェクトをプロデュースしたURAが、プロジェクトのメンバーとしても活躍しています。

参考URL

琉球大学研究推進機構研究企画室 <https://ura.skr.u-ryukyu.ac.jp/main/>



2023年10月1日に開催した総合技術部(琉大iTec)発足式

総合技術部のプロデュース

琉球大学URAは、研究環境とその支援体制の向上にも力を入れてきました。その一つが、分析機器の共用化推進です。以前は、講座や学科単位で機器を導入していて、先端機器を他の研究者が使いづらい状況がありました。そこで、URAが各部署に声をかけて、文部科学省事業の支援を受けつつ、機器の共用化を推進してきました。

その過程で、機器を扱う技術職員は、学部学科等単位の所属ではなく、ひとつの組織に所属する方が、効果的に持てる技術・技能を発揮できるという考えに至りました。そこで、URAの声がけにはじまり、体制づくりを支援して、総合技術部が発足することになりました(総勢84名)。

これからも、URAと総合技術部が協働して研究環境の向上に努めていくこととなります。